

<市原ロータリークラブ 卓話 (2025.01.23) > 30分程度

場所：いちの膳

テーマ：『市民一人一人が幸せを実感できるまちを目指して』

➤ 2024年を振り返って

- 昨年は、「ありがとう」という感謝の言葉の意味を改めて問い直すことから始まった一年でした。
- 「ありがとう」は漢字で「有ることが難しい」と書き、元は「命の貴重さや尊厳さに対する感動を表す言葉」であり、「当たり前ではない貴重なこと、めったにない有り難いこと」という意味です。
- 昨年1月1日に発生した能登半島での地震や令和元年房総半島台風をはじめ激甚化、頻発化する自然災害、人々の生活を一変させたコロナ禍に、「当たり前のことは一つもない、日常の全てが有り難いことである」ということを改めて気付かされたという方も多いのではないのでしょうか。
- 令和5年から実施してきた市制施行60周年記念事業は、昨年、その集大成である「エンジン01 in 市原」や「百年後芸術祭—内房総アートフェス」に市内外から多くの方々にご参加いただきフィナーレを迎えることができました。
- 本市の発展の礎を築いた先人たちへの感謝、60周年に関わっていただいたあらゆる人々への「ありがとう」の思いを胸に、私は、「みんなが輝く未来を みんなで創る」の旗印のもと、新たな未来の扉を開く、確かな一歩を踏み出しました。

➤ 本市の人口について

- 2023年の日本における出生数は8年連続で減少し、過去最少の72万7,288人となりました。
- 本市でも出生数が減少し、2023年は1,400人を下回り、少子化が進んでいます。
- 人口の社会動態では、近年は転入超過が続く一方で、20代から30代の若者の市外転出は依然として多い状況です。

➤ 子どもと子育て世帯を徹底的に応援

- 出生数の減少や若者の市外転出の抑制のため、子どもと子育て世帯への支援に取り組んでいます。

- 昨年4月に、子ども・子育て支援の総合的な拠点施設である「いちほら子ども未来館 we ほーる」がオープン。
- 子どもがワクワクできる魅力的な施設として、年間約 800 回のイベントを開催し、オープン後は常に子どもたちの笑い声が館内に溢れ、来館者は 12 万人を超えました。
- 館内には子育てネウボラセンターや発達支援センターもあり、子どもに関する様々な相談ができ、子育てに対する親の不安を取り除くとともに、子育てサロンで親同士の交流を広げることもできます。
- 子どもと親が楽しく安心して過ごせる場所として好評を博しています。
- また、近隣市に先駆けて、保護者の所得や第1子の年齢に関わらず、第2子以降の保育料の無償化を実施しました。
- 子ども医療費の助成も 18 歳まで拡充しており、子育ての経済的な負担軽減を図っています。
- 他の自治体と比較してもトップクラスの子育て支援により、子どもと子育て世帯を徹底的に応援しています。

➤ 拠点まちづくり

- 人口減少下においても本市の持続的な発展につなげるため、地域特性や資源を活かしたまちの魅力向上に取り組んでいます。
- 本市の拠点となる JR3 駅周辺においては、様々な機能を誘導することで賑わいと交流の創出を図ります。
- 本市の玄関口である五井駅周辺では、土地区画整理事業による新たな市街地整備に取り組み、商業、教育、産業といった様々な施設を充実させるほか、新しい市民会館としての機能を持つ、音楽・芸術の交流拠点の整備を進めています。
- 八幡宿駅周辺では、令和 8 年 3 月に、PFI 事業による周辺 6 つの公共施設の機能を集約した（仮称）八幡宿駅西口複合施設と八幡認定子ども園がオープンします。新たなまちのシンボルとして、世代を超えて親しまれ続ける施設として、にぎわいと交流を創出します。
- 姉ヶ崎駅周辺については、公民連携のリノベーションまちづくりの取組を進めております。これまでに 2 回のリノベーションスクールを開催し、まちづくりの担い手となる若者から、遊休資産を活用したまちの魅力向上の様々なアイデアが示されました。今後は、アイデアの実現に向けて若者たちと行政が連携して取り組んでいきます。

➤ ゴルフの街いちはら

- 本市は 33 コースのゴルフ場を有しており、日本一を誇ります。
- 令和 7 年も、市内ゴルフ場と連携し、「ゴルフの街いちはら」として様々な取組を実施してまいります。
- ゴルフをプレーして巡るスタンプラリー「いちはらゴルフ場巡り 33」は、スマートフォンアプリ及び LINE による仕組みにリニューアルし、さらに利便性を向上させます。
- より多くの市民の皆様により市内ゴルフ場でのプレーを楽しんでいただくため、季節限定で市民向けのプレー枠やお得な市民料金を設定する「市原市民ゴルフフェスタ」を開催しています。（※令和 7 年 1 月 6 日から 2 月 28 日までの平日）
- トッププレイヤーの育成にも力を入れており、昨年 8 月には、加茂学園の南愛美（みなみ えみ）さんが、世界最大級のジュニアゴルフ大会「US キッズゴルフ世界選手権」を二連覇するという、嬉しいニュースがありました。
- たくさんの子どもたちにゴルフに親しむ機会を提供するため、全小学校でのスナッグゴルフ体験を実施するとともに、ジュニアゴルファーの大会「市原市ジュニアゴルフオープン」を開催するなど、ゴルフの聖地を目指し、取り組んでまいります。

➤ SDGs 未来都市

- 日本屈指の石油化学コンビナートを有する本市だからできる取組によってカーボンニュートラルと地域経済の発展の両立を図ってまいります。
- デンカ株式会社、東洋スチレン株式会社と連携し、使用済みポリスチレン製品を再資源化し、再び食品トレーなどの商品を製造するケミカルリサイクルに取り組んでいます。
- 令和 6 年 7 月から、市内公共施設等の 14 箇所で使用済みポリスチレンの改修を実施しています。
- また、令和 9 年 4 月からの全市でのプラスチック一括回収の実施を目指し、モデル地区（五井・有秋）での試験回収を実施しました。（令和 6 年 9 月 1 日から 11 月 30 日）
- 今後は試験回収の結果を踏まえ、具体的な手法を検討してまいります。
- 併せて、回収したプラスチックの資源再商品化を進めるため、パートナー企業の選定に並行して取り組んでまいります。

➤ 新たな総合計画の策定

- 変化の激しい予測困難な時代において、いつまでも変わらない人々の本質的な願いである、誰もが生き生きと健康で幸せに暮らし続けられる市民一人一人が幸せを実感できる社会の実現が重要であります。
- 市民一人一人が幸せを実感できる「ウェルビーイング」の高い社会の実現を目指し、2026年度を初年度とする新たな総合計画の策定に取り組んでいます。
- 市民にとっての幸せとは何かを把握するため、町会、エリア別、若者、女性、子ども、福祉や産業などの各分野の当事者など、あらゆる方々とのきめ細かな対話を徹底的に行っています。
- 対話で挙げられた幸せの要素として、自身や家族の「健康」「人とのつながり」「安心・安全」といった幸せの基盤となるものがあり、その基盤の上で「自分らしさ」「自由」「生きがい」を感じながら生き生きと暮らすことが重要とのことでした。
- 引き続き、様々な方々とのしっかりとした対話を重ね、「みんなが輝く未来をみんなで創る」を旗印に、市民の皆様の思いのこもった総合計画を策定し、みんなの力を合わせて、本市の未来を切り拓いてまいります。

➤ その他

チバニアン

- 約 77 万の地球の地磁気が逆転していた時代の代表的な地層であり、国際基準地（GSSP）として認められ、同時代が「チバニアン」と命名される要因となった田淵の地層について、本市の貴重な資源として、魅力向上を図るため、令和 9 年供用開始を目指し、ガイダンス施設の整備を進めています。
- 施設は隈研吾氏の設計により、周辺環境と調和した魅力的な施設として、本市の南部地域の活性化につなげてまいります

エンジン 02 in 市原

- 60 周年記念事業の集大成として、昨年 1 月に開催した、エンジン 01 in 市原について、延べ 12,000 人を超える方々にお越しいただきました。
- この取組を一過性で終わらせることなく、「学びのまち」のレガシーとして引き継いでいくため、令和 7 年 2 月 1 日と 2 月 2 日に第 2 回目となる「エンジン 02 in 市原」を開催します。